

第31回オリンピック競技大会（2016／リオデジャネイロ）に向けた 2015年度ナショナルマラソンチームの編成について

1. 趣旨

第31回オリンピック競技大会（2016／リオデジャネイロ）（以下、リオデジャネイロオリンピック）で、メダル獲得や入賞を目指すためには、リオデジャネイロオリンピックで想定される環境等への事前準備が不可欠である。

リオデジャネイロオリンピックで高いパフォーマンスを発揮できるように、本連盟の医事委員会と科学委員会及び日本スポーツ振興センターのマルチサポート事業と連携して、現在の日本トップレベルの競技者の能力をより高く引き上げるための取り組みを展開する。

また、リオデジャネイロオリンピック代表選手が、より良い状態でスタートラインに立てるように、ナショナルマラソンチームで蓄積したノウハウを活用して、万全の体制で本番に挑める体制を構築する。

2. 参考競技会

国際陸上競技連盟（以下、IAAF）が、第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）及びリオデジャネイロオリンピックの参加標準記録として承認する競技会。

3. 編成基準

下記の優先順位で選考する。

（1）選抜条件

- 1) 日本陸連設定記録（男子：2時間06分30秒、女子：2時間22分30秒）を満たした者
- 2) 第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）マラソン代表となった者
- 3) 第17回アジア競技大会（2014／仁川）マラソン3位以内の者
- 4) ナショナルチーム標準記録（男子：2時間09分30秒、女子：2時間27分00秒）を満たした者
- 5) 第14回世界陸上競技選手権大会（2013／モスクワ）マラソン8位以内の者
- 6) 男女長距離・マラソン部長が推薦する者

4. 選考方法

2014年4月1日から2015年4月30日までの競技成績をもとに、長距離・マラソン部長が選考原案を作成し、専務理事の承認を経て決定する。

5. 活動内容

（1）強化合宿

- 1) 男子
 - ① 長距離・マラソン合宿（2015年7月下旬予定：北海道釧路市）
 - ② 長距離・マラソン合宿（2015年9月上旬予定：北海道士別市）
- 2) 女子
 - ① アメリカ高地トレーニング（2015年7月上旬予定：アルバカーキ）

（2）暑熱対策サポート

大会時、強化合宿時及び各トレーニング拠点での体重や深部体温の測定及び尿検査等の医科学サポートと、暑熱環境下の給水や栄養等の対処方法を情報提供する。

(3) メディカルサポート

コンディションチェックシステムを活用して、本連盟医事委員会との連携のもとナショナルチームメンバーの障害、故障及び体調不良に対するサポート体制を整える。

(4) トレーニングの構築

リオデジャネイロオリンピック以降も、世界を目指す競技者と指導者が、積み上げたマラソントレーニング方法を活用できるようにノウハウを構築する。

但し、その情報の取扱いや公開方法は、ナショナルチームの競技者と指導者の合意を得て進める。

6. 義務

ナショナルチームの選手は、下記の義務を遵守する。

- (1) ナショナルチームの趣旨に基づき、リオデジャネイロオリンピックでのメダル獲得を目指し、競技力向上及び健康状態の保持に努める。
- (2) 正当な理由がある場合を除き、指定または推薦する行事に参加する。
- (3) 指定された測定及びメディカルチェックを受診する。
- (4) アンチ・ドーピングに関わる全ての基準を適正に遵守する。
- (5) メディカル情報、コンディション情報、トレーニング情報を定められた時期に提出する。

7. 同意

ナショナルチームの趣旨、活動内容、義務を了承し、同意した競技者をナショナルマラソンチームの競技者として指定する。

8. 追加条件

編成方針及び基準に基づき、2015年5月1日から2015年11月14日までの競技成績から追加をすることがある。

9. 補足

- (1) 活動方針や具体的な計画は、本連盟強化委員会が作成する。
- (2) ナショナルマラソンチームは強化委員会の傘下に置き、男女それぞれの長距離・マラソン部長が管掌する。
- (3) 編成にあたっては、競技者や所属チームの意向を配慮する。
- (4) ナショナルマラソンチームは、状況に応じて年度途中で変更することがある。
- (5) 各記録の有効期間は、下記の通り。

日本陸連設定記録：2014年4月1日～2016年3月13日

ナショナルチーム標準記録：2014年4月1日～2015年11月14日

- (6) リオデジャネイロオリンピックのマラソン代表選手の選考は、2015年6月に開催予定の理事会で承認される選考要項をもとに、代表選手を選考する。ただし、ナショナルマラソンチームの競技者は、リオデジャネイロオリンピックの代表選考の優位性を保証されるものではない。

以上